



野洲市 31 施策 8 月定例議会に提案

市民の命と暮らし守れ

野洲市の新型コロナウイルス感染対策が8月28日から開催の市議会定例会に提案されます。全体31施策で3億6334万円（内、国交付金3億4517万円）です。以下、主なものをお知らせします。

尚、各施策は原則、自己申請です。お問い合わせは市担当課または下記の共産党議員までご連絡ください。



- ◆ 18歳以下の児童がいる世帯に一人1万円給付
- ◆ 小学校夏休み短縮に伴い学童保育料を減額
- ◆ 小規模事業者の借地料を10万円支援
- ◆ 小中学校夏休み短縮中の簡易給食の無料
- ◆ 赤ちゃんへ定額給付金を一人10万円給付
- ◆ 国民健康保険税が減免になった世帯に一人3万円給付

18歳以下の児童がいる世帯に1人1万円

国から交付される「ひとり親世帯臨時給付金」対象世帯を除く全世帯に給付。児童一人につき1万円を給付。

赤ちゃんへ定額給付金10万円給付

国の「特別定額給付金」の対象外である、令和2年4月28日から令和3年2月28日までに生まれた赤ちゃんに対して、1人10万円を給付。（11月補正）

国保税が減免になった人に1人1万円給付

国保税が減免となった人に連携して生活支援給付金1人3万円を給付。尚、昨年より3割以上減収の場合、国保税の減免あり。

小中学校の「簡易給食費」の無料化

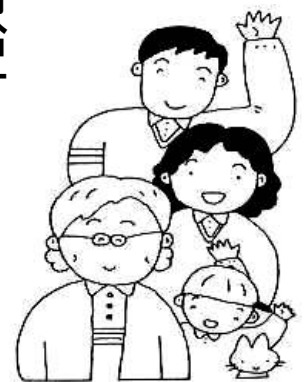
夏季休業中内の登校時に実施される「簡易給食」の給食代を無料に。

通所介護・福祉サービス等への運営安定化支援金

在宅介護サービス・障害者福祉事業所に対し経営安定のため、1事業所定額30万円及び定員に応じて上乘せ。

小規模事業者支援

- 実施中のテナントに対する支援を拡充し、借地により事業を営む事業者に対して1事業者10万円を交付。収入制限なし。
- 小規模事業者の借入金償還を支援。1事業者10万円。



しんぶん
赤旗 日曜版

合併号(8月9日号 8月16日号)でお届けします

日頃のご愛読ありがとうございます。しんぶん「赤旗」日曜版の8月9日号と16日号は合併号でお届けします。よって、16日の配達はなく、23日号より通常号としてお届けします。引き続きご愛読をよろしくお願い申し上げます。



やす民報

日本共産党野洲市委員会
2020年8月9日 No.371

市政や市議会へのご意見
ご要望をお寄せください

野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX)587-0985
 東郷正明 比江864 (電話・FAX)589-4158
 工藤義明 小篠原879 (電話・FAX)588-1856

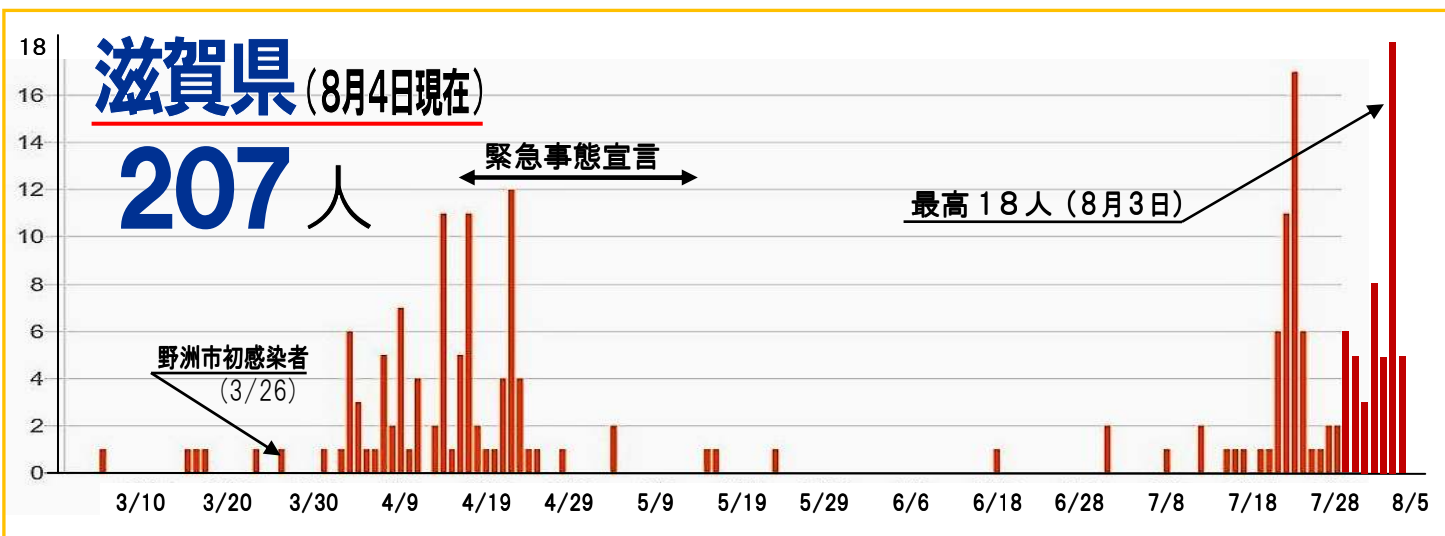
ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索

新型コロナ

感染拡大歯止めかからず

PCR検査の抜本的拡充を



大規模で包括的な検査を 感染震源地を明確にし

滋賀で感染急増 党滋賀県議団が三日月知事に申し入れ

新型コロナの感染が急増しています。滋賀県でも感染者数は207人（8月4日現在）となり、クラスターも発生しています。

共産党滋賀県議団は4日、「新型コロナ対策にかんする緊急申し入れ」を三日月知事に手渡し、感染急拡大を阻止するために、PCR等検査の大規模実施を申し入れしました。申し入れには、佐藤こうへい衆院滋賀3区国政対策委員長、節木・松本両県議が行いました。

「防疫、感染拡大を防ぐため、積極的なPCR検査にかじを切り、検査数を増やすこと」。医療崩壊が心配されることについて「医療機関を支えるための



対策を早急に具体化すること」を求めました。佐藤氏は「いつ自分が感染するか分からない」という不安解消には「感染震源地を見つけて広がらないように押さえ込む対策が必要」と述べました。



国会に出ず、記者会見もせず

コロナ感染が激増の中、「Go To トラベル」や「アベノマスク配布」など迷走。しかし安倍首相は、6月23日以降、一カ月以上国会の審議に出ず、記者会見も応ぜず「雲隠れ」し、逃げまくっています。コロナ対策とともに、

集中豪雨で大きな被害が出るなか、安倍首相自身が説明責任を果たし万全の対策を示さなければなりません。にもかかわらず、国民の前から逃げ回るのは、政府の体をなしておらず、首相としての資質が問われています。

